

◎平成28年度一般会計予算 41億8千万円

平成28年度の一般会計及び特別会計の予算は3月3日開会の定例村議会において、きめ細かい審議を経て3月11日原案どおり可決されました。
一般会計の予算は、41億8千万円で前年度に比べ約0.3%の減額となりました。

○一般会計歳入

単位：千円

	款	本年度	前年度	比較	説明
1	村 税	541,102	557,873	△ 16,771	村民税、固定資産税、軽自動車税、村たばこ税、入湯税。
2	地方譲与税	57,000	58,000	△ 1,000	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税。
3	利子割交付金	500	500	0	預金利子等の所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
4	配当割交付金	1,000	300	700	特定配当等の額に分離課税された県民税から一定割合が交付。
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000	100	900	特定株式等譲渡所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
6	地方消費税交付金	77,800	55,000	22,800	消費税5%のうち、国4%・地方1%（県1/2、市町村1/2）。
7	自動車取得税交付金	12,000	15,000	△ 3,000	自動車取得税の一定額が村道の延長と面積を基準に交付。
8	ゴルフ場利用税交付金	2,000	3,500	△ 1,500	ゴルフ場利用税の7割が交付。
9	地方特例交付金	400	400	0	減収補てん特例交付金。
10	地方交付税	1,576,000	1,568,000	8,000	村の基準財政収入額と基準財政需要額の差を国が交付。歳入の4割弱。
11	交通安全対策特別交付金	1,200	1,400	△ 200	交通反則金を配分。道路交通安全施設整備に充当。
12	分担金及び負担金	13,433	15,638	△ 2,205	学校給食費負担金、各種検診個人負担金など。
13	使用料及び手数料	19,598	19,849	△ 251	村営住宅や体育施設の使用料、公共物占用料、各種証明手数料など。
14	国庫支出金	338,495	425,275	△ 86,780	障害者福祉サービス費等負担金、児童手当特例給付費負担金、社会資本整備総合交付金など。
15	県支出金	193,307	186,136	7,171	障害福祉・児童福祉・社会福祉補助金、小規模土地改良補助金、国体施設整備費補助金など。
16	財産収入	11,554	11,887	△ 333	土地、建物の貸付料、基金の預金利子など。
17	寄附金	10,001	2,501	7,500	村民や各種団体からの一般寄附金及びふるさと納税寄附金。
18	繰入金	432,173	556,188	△ 124,015	村の貯金（財政調整基金他）からの繰入れ。
19	繰越金	50,000	50,000	0	前年度決算後の余剰金。
20	諸収入	69,437	50,453	18,984	預金利子、貸付金元利収入、花の駅事業収入及びスポーツ振興くじ助成金などの雑収入等。
21	村債	772,000	614,000	158,000	過疎対策事業債、臨時財政対策債。
歳入合計		4,180,000	4,192,000	△ 12,000	
歳入合計のうち自主財源		1,147,298	1,264,389	△ 117,091	

○一般会計歳出

単位：千円

	款	本年度	前年度	比較	説明
1	議会費	71,073	76,061	△ 4,988	村議会の活動に要する経費。
2	総務費	580,105	558,411	21,694	人事、企画、財政、情報政策、徴税、戸籍、選挙、交通安全など。
3	民生費	843,882	678,440	165,442	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療、保育所など。国保・介護各会計への支出など。
4	衛生費	471,371	476,596	△ 5,225	総合検診、予防接種、環境衛生、健康管理センター、簡水・後期高齢各会計への支出など。
5	労働費	51	5,736	△ 5,685	緊急雇用創出事業、労働関係各団体への負担金・補助金の支出など。
6	農林水産業費	218,405	219,089	△ 684	農業委員会、農業土木、農業・畜産振興、林業・水産業費など。
7	商工費	89,106	85,574	3,532	商工業振興、観光振興。
8	土木費	271,616	333,322	△ 61,706	道路、橋梁、河川、除雪経費、下水道会計への支出など。
9	消防費	152,301	145,415	6,886	広域消防への負担金、消防団経費など。
10	教育費	1,114,997	1,253,819	△ 138,822	学校教育、生涯学習、スポーツ振興など。
11	災害復旧費	3	3	0	大雨、暴風、地震などの災害による被災施設の復旧費。
12	公債費	279,890	267,634	12,256	村債の元金・利子、一時借入金の利子。
13	諸支出	85,200	89,900	△ 4,700	観光施設事業特別会計への補助。
14	予備費	2,000	2,000	0	予算外の支出または予算超過の支出に充てる経費。
歳出合計		4,180,000	4,192,000	△ 12,000	

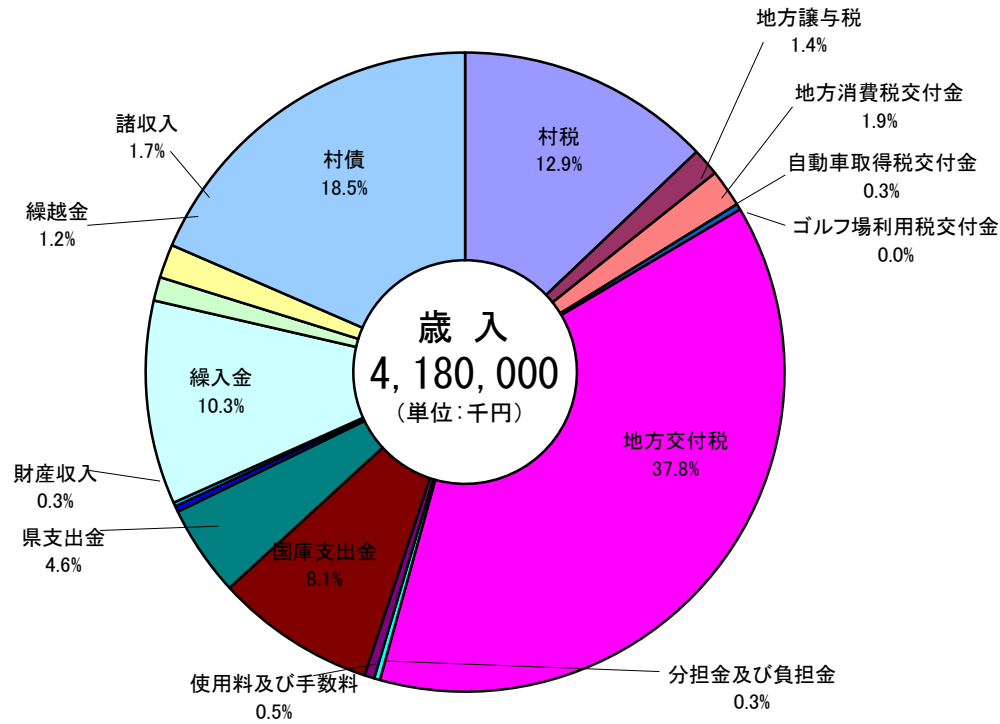
○特別会計予算

単位：千円

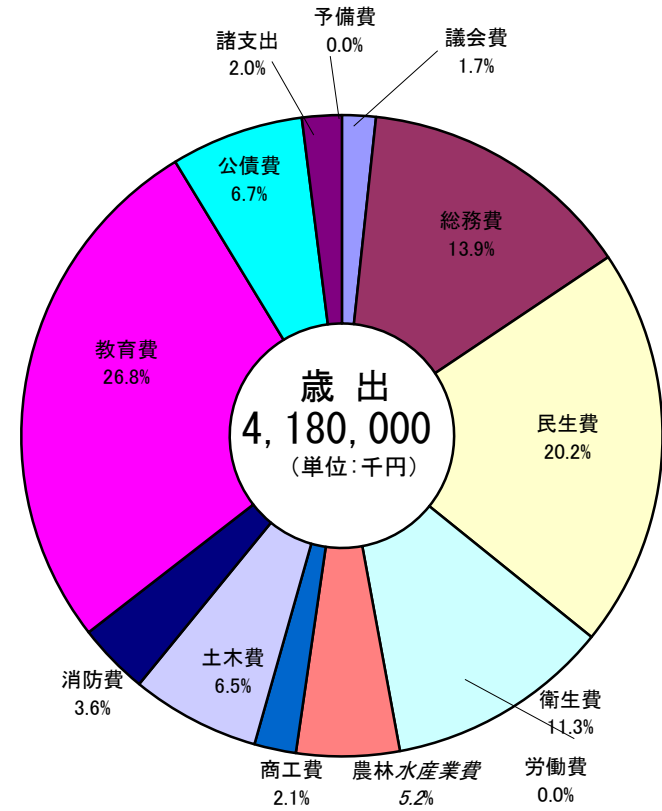
特別会計名	本年度	前年度	比較	説明
国民健康保険	910,719	921,470	△ 10,751	社会保険、共済組合等の加入者以外の医療費給付事業。
簡易水道事業	83,100	82,200	900	6つの簡易水道事業の管理運営。
観光施設事業	尾瀬ロッジ、オグナほたかスキー場、武尊牧場観光施設の経営管理。			
収益的収入	105,930	100,986	4,944	経営による収益。他会計補助金。
収益的支出	95,743	100,901	△ 5,158	収益を上げるための経費。
資本的収入	0	0	0	他会計補助金。
資本的支出	43,306	32,500	10,806	企業債、長期借入償還金。
介護保険	528,784	526,915	1,869	介護予防、介護サービス事業。
下水道事業等	81,529	86,398	△ 4,869	農集排、特環公共下水道事業の管理運営。
後期高齢者医療	56,967	58,678	△ 1,711	75歳以上（一定の障害等がある人は65歳以上）の者の医療費給付事業。

歳入歳出予算款別比較表

《 歳入 》



《 歳出 》



平成 28 年度当初予算の主要事業

●は重点項目

1. ～自主・自立の村づくりのために～（村民・行政）
 - むら・ひと・しごと創生総合戦略を推進する。
 - GIS（航空写真）内に家屋図データを取り込み、家屋を正確に把握することにより、固定資産税の課税漏れをなくし、また住民に対して正確な公図提供を行う。
2. ～誰もが安心して暮らせるために～（保健・福祉）
 - 低負担高福祉の継続。
 - 児童館の建設と子育て支援の充実。
 - 保健・福祉・医療・介護の総合的な事業展開による村民福祉のより一層の向上を図る。
 - 健康増進事業、介護予防事業の強化を図る。
3. ～豊かな心をはぐくむために～（教育・文化）
 - 統合小学校の円滑な運営を図る。
 - スクールバスの安全な運行を図る。
 - 片中建設事業を開始する。
 - 小中一貫教育の研究の端緒を開く。
4. ～快適で安全な生活のために（環境・安全）
 - 消防施設の整備充実を図る。（消防車両の更新）
 - 生活道路網の保全整備と老朽化した橋梁の長寿命対策を実施する。
 - 救急体制の整備を図る。（指定緊急避難所への救命救急用 AED 自動体外式除細動器の設置）
5. ～資源を活かした活気ある村づくりのために～（観光・産業）
 - 第 4 次総合計画前期基本計画及びむら・ひと・しごと創生総合戦略を推進し、若者の雇用創造等を図る。
 - 村中心地活性化に資する交流連携拠点整備を推進する。
 - 地域おこし協力隊制度を活用した取組を推進する。
 - 有害鳥獣対策として防護柵の設置と電柵購入の補助等を実施する。
 - 近代化農業推進のためパイプハウス導入の補助・トマト育苗自動灌水システム導入補助を実施する。
 - ぐんま緑の県民税で森林整備を支援する。